

# 夏の藤倉英幸展 Part 2

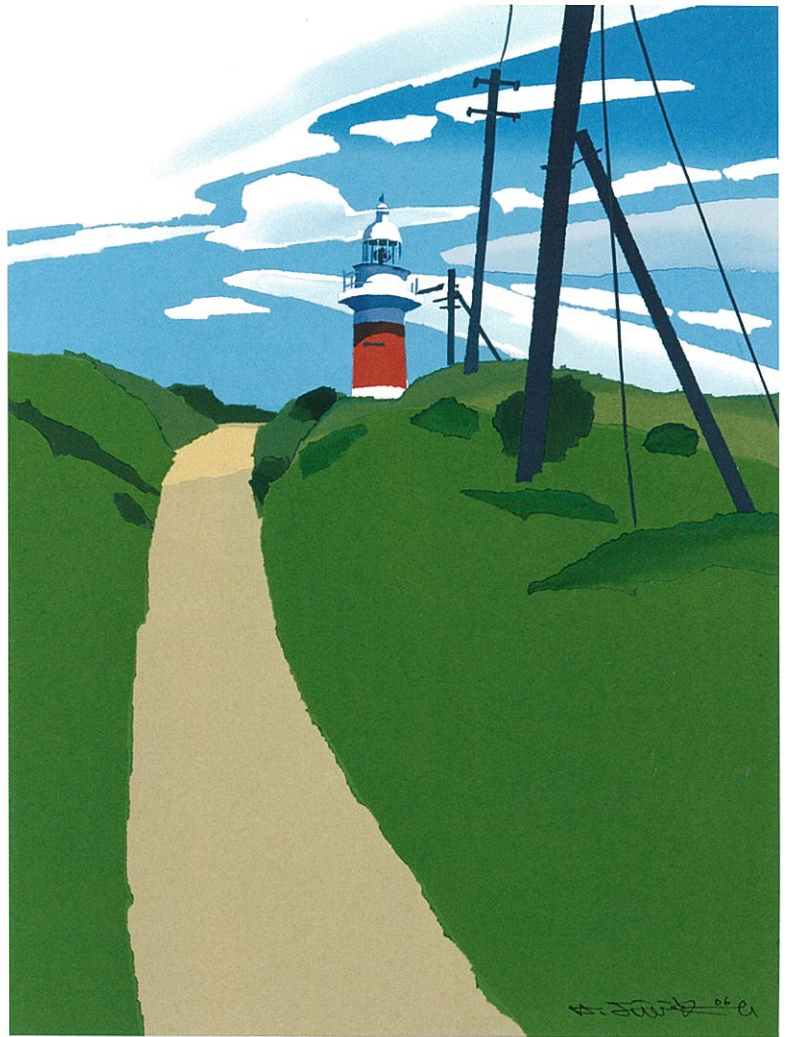
JR北海道車内誌「THE JR Hokkaido」表紙画を20年以上にわたって担当するほか、六花亭などの商品パッケージにも作品が用いられ、その画風が多くの人に親しまれるイラストレーター・藤倉英幸。そこでみられる「はり絵」作品の制作に至るまでには、藤倉の多くの苦悩がありました。

藤倉は1970年代後半から、北海道の失われつつある風景や人々のいとなみを「切り絵」技法で作品にし、後世へと残す取り組みをはじめます。そしてそれらの作品は新聞に掲載され、やがて画集が刊行されるなど好評をもってむかえられました。そしてこの仕事が、それまでチラシなど多くの宣伝媒体を匿名で制作してきた藤倉の名前を世に出すきっかけともなったのです。

しかし、藤倉の心にはつねに一つの疑問が横たわっていました。「輪郭線が残る切り絵で、北海道の風景が持つ四季折々の魅力や空気感を表現できているのか」—その模索の中で目にしたのが、版画家・斎藤清[1907-1997]の「会津の冬」シリーズでした。そこに描かれていたのは、すべてのものを美しく包み隠す版画による雪の表現。これに触発された藤倉は、洋紙を用いて北海道の冬の情景を「はり絵」で描くことに着想を得たのです。いわば、藤倉はり絵は版画の技法から生まれたのです。

87年末からは、はり絵技法によって冬の北海道を描いた作品の試作をはじめ、90年頃から個展などで発表します。その後、92年に「THE JR Hokkaido」の表紙絵を担当して以降は、冬以外の季節にも目を向けて作品制作を続けて今日に至ります。

本展では、夕張市の財政破綻とともに公開の場を失った旧夕張市美術館旧蔵の斎藤清作品とともに、藤倉の初期習作を展示し、藤倉はり絵の原点に迫ります。また、このほか藤倉による四季折々の北海道の風景画やポスターなどの印刷作品も展覧いたします。



藤倉英幸(夏の道)2006年 有島記念館蔵

## 藤倉はり絵の原点、斎藤清の版画とともに



斎藤清(会津の冬(101)坂下町 杉)1992年 夕張市教育委員会蔵



藤倉英幸(海に降る)1987年 有島記念館蔵



藤倉英幸(山湖秋彩)2008年 有島記念館蔵

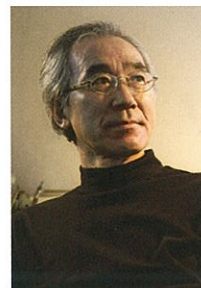
### ● 関連イベント

#### 藤倉英幸による「はり絵教室(入門編)」

日時: 2019年7月27日(土) 13:00開始(3時間程度)  
講師: 藤倉英幸(イラストレーター)  
材料費: 1,000円  
要電話申込(7月5日まで・定員15名・抽選制)

### ● 会期中のイベント

7月14日(日): 能登谷安紀子ヴァイオリンリサイタル  
8月31日(土): 歌とピアノのコンサート  
9月 7日(土): しりべしミュージアムロードコンサート(主催:道銀文化財団ほか)  
9月21日(土): 秋の有島記念館コンサート  
このほかにも各種事業を開催します。  
詳細は当館ホームページまたはお電話でご確認ください。



### 藤倉英幸 略歴

1948年、北海道後志管内島野村(現・岩内町)生まれ。74年にイラストレーターとして独立し、ポスター、パッケージ、装丁など商業デザインを幅広く手がける。80年代に入ると、北海道の風景や人々の生活に目を向けた「切り絵」作品を発表。80年代後半からは本格的に「はり絵」による風景画を描きはじめ、自身のライフワークとする。JR北海道車内誌「THE JR Hokkaido」の表紙画などで広く親しまれている。『静かな風を聴きながら』(2013年、共同文化社)など画集多数。17年、はり絵原画やポスターなどの印刷物約1万点を有島記念館に寄贈。夏と冬に定期展覧会が開催されている。

### 斎藤 清 略歴

1907年、福島県生まれ。11年に北海道夕張へ移住。その後、小樽や札幌にて薬局、看板店などの職に就き、のちに小樽で看板店を運営した。31年に上京して独学で油彩を学ぶ。36年には安井曾太郎の木版画に触発され、初めて木版画を制作。以降、版画制作を本格化させる。戦後、作品が海外で紹介され高い評価を得るとともに、それは日本の現代版画を世界へ知らしめることにもつながった。97年没。文化功労者。福島県に「にやないづ町立斎藤清美術館」がある。

### 【交通アクセス】

【駐車場】 自家用車用約30台・大型バス用約15台完備  
自家用車 ▶ 札幌、新千歳空港より自家用車で約2時間  
J R ▶ ニセコ駅より徒歩約30分(約2.5km)、タクシー5分  
バ ス ▶ 道南バス[倶知安駅発]「有島記念館前」下車徒歩5分

## ニセコ町・有島記念館

NISEKO, ARISHIMA TAKEO MEMORIAL MUSEUM

〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島57番地 Tel 0136-44-3245

